

唇や指先にそばかす状の斑点があり増えてきました  
腹痛を伴っていると注意が必要です  
立川皮膚科クリニック  
www.tachikawa-derma.com

ポイツ・イエガース症候群  
ロージェ・フィンツイカー・バラン症候群



唇や指先にそばかすのような斑点ができて始め、だんだん増えてきた…。そのような症状がある際に、どのような病気が疑われるのか、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医・立川皮膚科クリニックの伊東秀記先生に聞きました。

「唇に黒褐色の色素斑が、指先にも同様の色素斑がみられる場合は、ポイツ・イエガース症候群はどのような症状がありますか？」

「この疾患は遺伝性で、唇や口内、指先で黒褐色のメラニン色素斑がでくるとともに、胃や小腸、結腸にポリープが多発し、腹痛を伴うのも特徴です。色素斑は徐々に増えていきます」

「唇に黒褐色の色素斑が、指先にも同様の色素斑がみられる場合は、ポイツ・イエガース症候群はどのような症状がありますか？」

「消化器官の内視鏡検査を行います。ポリープは病理組織検査を行い、必要であれば切除します。ポリープは出血したり、がん化することあるので、唇や指先に黒褐色の斑点が増えていくといった症状が現れたら、皮膚科で鑑別診断を行うことをお勧めします」

休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~ 13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~ 19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け



院長：伊東秀記  
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業

問い合わせ  
TEL042-843-1377  
JR「立川」駅南口徒歩2分

2020年9月25日付 「リビング多摩」に掲載されました